

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

m-ジクロロベンゼンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

EFA95002

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質： m-ジクロロベンゼン

方式： 連続流水式(試験液交換率10.1回/日)
当初半止水式(48時間で全量換水)を試みたが、溶存酸素濃度が飽和の60%を下回ったため、連続流水式を採用した。

供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)

試験濃度： 対照区、助剤対照区 (85.7mg/L)、1.8、3.2、5.6、10および18mg/L

暴露期間： 96時間

試験液量： 5.0 L

生物数： 10尾/濃度区

照明： 16時間明/8時間暗(室内光)

エアレーション： 無し

温度： 23.4~23.8℃

結 果

試験の結果、m-ジクロロベンゼンの測定濃度に基づく96時間の半数致死濃度(LC50)は5.7mg/Lであり、その95%信頼区間は4.6mg/L~7.0mg/Lであった。